

アンチバイオグラム作成ツール 簡易マニュアル

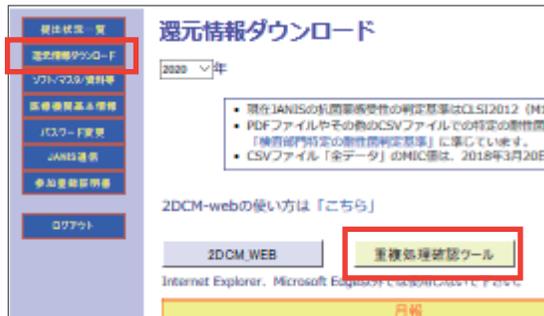
『アンチバイオグラム作成ツール』を用いて、自施設のアンチバイオグラムが任意の期間を設定して作成することができます。

まず JANIS で提供している『重複処理確認ツール』で 検査部門の還元情報（月報）CSV ファイル「全データ」の内容をまとめた CSV ファイルを作成し（STEP①）、つぎに『アンチバイオグラム作成ツール』でアンチバイオグラムを作成します（STEP②）。

ツールの入手方法

参加医療機関専用サイト（検査部門でログイン）の以下のページからダウンロードしてください
<https://janis.mhlw.go.jp/janis/index.html>

- ・**重複処理確認ツール**：> 還元情報ダウンロード
 マニュアル：> ソフト / マスタ / 資料等



システム要件
 CPU：1GHz 以上のプロセッサ
 メモリ：1GB 以上
 OS：Windows 7, Windows 8, Windows 8.1, Windows 10
 ブラウザ：Internet Explorer 8 以上, Microsoft Edge
 その他必要システム：.NET Framework 4.6.1

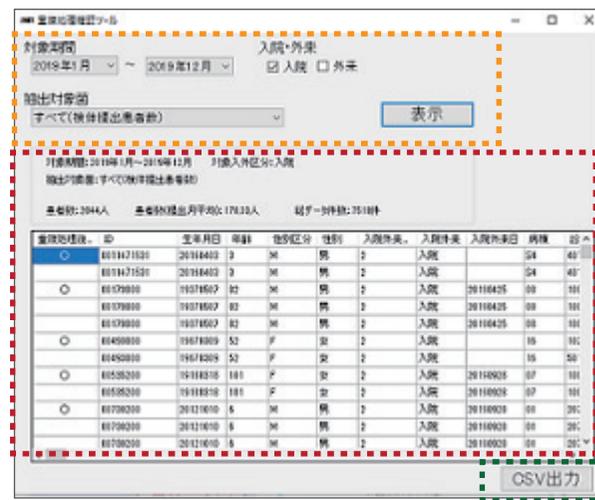
- ・**アンチバイオグラム作成ツール**：
 簡易マニュアル：
 > ソフト / マスタ / 資料等



システム要件
 一般的な処理能力のあるパソコンであれば利用可能

STEP① CSV ファイルの作成

- ① 『重複処理確認ツール』を立ち上げる
- ② 医療機関コードと検査部門のパスワードでログインするとメイン画面が表示される



- ③ 表示メニューを選択し、「表示」をクリックする
 対象期間：2018年4月以降に JANIS へ提出したデータ
 期間のみ選択可
 入院・外来：片方または両方選択可
 抽出対象菌：「すべて」を選択

- ④ 指定した期間内の全データが表示される
 最左の項目「重複処理後の患者」に○がついているデータが集計対象になる患者データとなる
 （なお、アンチバイオグラム作成時には薬剤感受性も考慮して異なる菌株が集計される）

- ⑤ CSV ファイルの出力
 「CSV 出力」をクリックして、CSV データとしてデスクトップ等に保存する

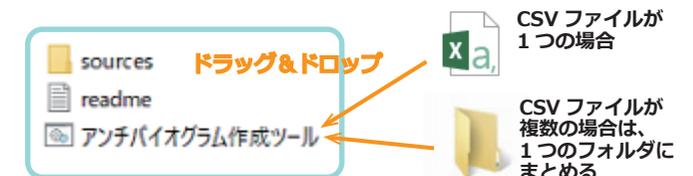
STEP② アンチバイオグラムの作成

- ① ダウンロードした『アンチバイオグラム作成ツール』の Zip ファイルを展開（解凍）する



※「readme」には、このツールの使い方、制約事項、仕様が記載されています

- ② 重複処理確認ツールで出力した CSV ファイル、または複数の CSV ファイルを入れたフォルダを「アンチバイオグラム作成ツール」にドラッグ&ドロップする



CSV ファイルが1つの場合

CSV ファイルが複数の場合は、1つのフォルダにまとめる



患者 ID のルールが異なる複数の CSV ファイルでも、1つのフォルダに入れて、フォルダごとドラッグ&ドロップすると、別々の医療機関のデータをまとめて1つのアンチバイオグラムを作成することができます

- ③ 集計が開始され、自動でブラウザが立ち上がり、アンチバイオグラムが作成される

※ 作成できるアンチバイオグラムは、JANIS 年報「主要菌の抗菌薬感受性」の集計対象となっている菌種・抗菌薬に限ります

